

# 肺疾患に対する経消化管的超音波内視鏡下組織採取法の有効性と安全性に関する後向き研究

## 1. 研究の対象

2020年4月1日～2024年10月31日の間に当院で肺疾患に対する精査として経消化管的な超音波内視鏡下組織採取法を行った患者さん。

## 2. 研究目的・方法

原発性肺癌を含めた肺疾患の病理診断には、気管支鏡による検体採取が考慮されます。しかし、縦隔リンパ節腫大や食道に近接する肺病変では気管支鏡でのアプローチが困難です。食道からの超音波内視鏡下組織採取法（EUS-TA）では、肺や縦隔リンパ節の組織採取が可能である場合があります。肺疾患に対する超音波内視鏡下組織採取法の有効性と安全性を検討するために今回の試験を行いました。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、気管支鏡検査の有無、喫煙の有無、飲酒の有無、穿刺対象、穿刺対象径、病理結果、偶発症、最終診断 等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一